

2007 年度

科目名 日本風俗文化史 B	対象学科・学年 文学部全学科 3 回生 教育教福 3 回生 人間全学科 3 回生	担当者 乾 澄子
授業テーマ 王朝の風俗と文化		
授業の概要と目標 現在の私たちの風俗や文化には、さまざまな歴史的背景がある。なかでも自然観を中心とした、行事の多くは400年続いた平安時代の貴族たちによって育まれてきた。自然豊かな日本の風土において、四季折々の季節にふさわしい生活を送ることが、何より教養あるものとされてきた王朝人の知恵を学んで行きたい。そして現代まで受け継がれているもの、すでに消滅したもの、形を変えたものなど、現代との関わりを考えてみたい。		
評価方法 学生による発表、期末のレポートを中心に、提出物、出席状況、授業への参加意欲などを総合して評価		
テキスト プリント配布	著者	出版社
参考書 適宜授業中に紹介	著者	出版社
授業スケジュール・内容 <内容> ○今学期は主に平安時代の年中行事と貴族たちの日常生活について学ぶ。 ○ さまざまな行事について、『源氏物語』『紫式部日記』『枕草子』『古今集』などの文学作品を通じて当時の人々の感じ方、考え方を学習（なお古典作品については口語訳付きのテキストを用いて解説する） <スケジュール> 1. ガイダンス 2. 王朝時代の基本的な社会的背景を説明 3. 王朝の年中行事の概説 1. ～14 受講生による発表と討議 1月 正月 3月 ひな祭り 上巳の祓 4月 葵祭り 5月 端午の節句 6月 六月祓 7月 七夕 8月 観月 9月 重陽の節句 11月 新嘗祭 五節 豊明節会 12月 歳暮 など 15. まとめ ☆奈良、平安時代に起源をもつ年中行事は現在の我々の生活とどのように関わっているだろうか。（あるいは関わっていないだろうか）また、これらの行事の多くは中国発祥のものが多く、中国や、同じように伝わってきた朝鮮半島では現在どのようにおこなわれているかなど、考えてみたい。		